



JPI催しのご案内

2018
1

公益社団法人日本包装技術協会

【研究会の参加申し込み方法について】

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

開催要領

- 会場** 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
- 日時** 平成30年1月25日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00
- 参加費** JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第219回輸送包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】JIS Z 0201 及び JIS Z 0202改正の解説及び落下試験における加速度計測と応用

2017年にJIS Z0201(試験容器の記号表示)及びJIS Z0202(包装貨物-落下試験方法)が改正されました。それぞれの改正目的と要点について解説します。また、落下試験等で利用される加速度計測の方法及び基本的な見方や読み取れる様々な情報、特に最新の計測器によるSRS解析、たわみ解析、それらを活用した緩衝材の動的応力-ひずみ曲線の生成方法など、事例を上げ、紹介します。特に最近では効率化を目的とした落下試験のCAEシミュレーションが活用されていますが、動的な材料特性の収集が解析精度を向上させる重要な要素となっており、加速度波形を利用することにより、容易に材料の動特性を求めることが可能となっています。

- 【講師】富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株) エキスパート開発統括部包装設計グループ 包装専士 小勝 則次氏
- 【コーディネーター】日本化工機材(株) R&Dセンター センター長 包装専士 加藤 千明氏
- レンゴ(株) 開発本部 包装技術部 包装評価センター 課長代理 包装管理士 川上 仁氏

第2部 第220回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】包装容器におけるCAEの活用と構造最適化を用いた新しいデザインプロセス

近年、包装容器業界において開発期間の短縮を主な目的としてCAE(Computer Aided Engineering)が幅広く活用され、FEM(Finite Element Method)を用いたシミュレーションによる性能検証が開発プロセスに組み込まれてきている。また、構造最適化技術も様々な製品開発に応用されてきており、特に設計初期段階でトポロジー最適化を活用し、要求性能を考慮したデザインとすることで、開発期間の更なる効率化が見込まれる。

本講演では、様々な業界のシミュレーション活用事例とあわせて、CAEとは?トポロジー最適化とは?といった基本的な考え方や概念を説明し、包装容器開発におけるシミュレーション活用について紹介する。また、包装容器の設計プロセスにおける3Dモデルやシミュレーション活用に関して、設計プロセス上流の設計初期段階でトポロジー最適化計算を取り入れた新しいデザインプロセスを化粧品容器を対象とした検証結果とあわせて紹介する。

- 【講師】アルテアエンジニアリング(株) 技術本部 執行役員 阿部 大生氏
- 【コーディネーター】(株)旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士 浦川 英三氏
- サントリー-MONOUZUKURIエキスパート(株) SCM本部 包材部 専任課長 宮井 清氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

1月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、当会ホームページからのお申し込み、もしくは、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXにてお受け付け致します。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	

1月度の見学会はございません。

第13回包装材料セミナー

～包装の接着技術について～

【開催要領】

日時：平成30年1月26日（金）9:50～16:30
参加費：1名につき会員20,520円3名同時申し込みの場合16,740円・一般28,080円（消費税・テキスト代含む）
会場：ソラシティカンファレンスセンター Room C
定員：100名（定員になり次第締切となります）

【スケジュール（予定）】

9:50～10:50 ①『ラミネート用ポリウレタン接着剤』 講師：三井化学㈱ 安藤 一博 氏
11:00～12:00 ②『CO₂発生量削減包材の開発』 講師：味の素㈱ 谷坂 理子 氏・サトーグリーンエンジニアリング㈱ 山室博巳 氏
12:00～12:50 昼食休憩
12:50～13:20 講師への質問会①、②
13:30～14:30 ③『デュボンのMylar®イージーピールフィルムについて』 講師：デュボン㈱ 半田 昌史 氏
14:40～15:40 ④『接着技術と包装機械』 講師：大森機械工業㈱ 一岡 幹朗 氏
15:40～16:00 休憩
16:00～16:30 講師への質問会③、④

詳しくは専用パンフレット及び当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

第13回緩衝包装設計コース

～初級から中堅クラスまでの包装設計者に対応～

【開催要領】

日時：平成30年1月24日（水）10:00～16:30
参加費：1名につき 会員25,920円・一般36,720円（消費税・テキスト代・副読本代含む）
会場：(公社)日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
定員：50名（定員になり次第締切となります）
講師：カネパッケージ㈱ パッケージング アドバイザー 包装専士 高橋 二郎 氏

【スケジュール（予定）】

時間	内容
10:00～12:30	1. 輸送包装と緩衝包装（輸送包装における、製品保護についての緩衝包装の必要性） 2. 衝撃と振動の平易な力学（落下衝撃と輸送振動のマス・バネ系モデル化による作用力等について） 3. 緩衝包装設計の手順（緩衝設計ステップ5法則の流通環境、製品易損性、材料、設計、試験について） 4. 緩衝包装設計基本技法（緩衝材の性能を示した特性曲線図から緩衝材の厚さと面積を求める方法）
13:30～16:30	5. 緩衝包装設計の応用技法と総合演習（諸条件を元に緩衝・容器・積載を含めたトータル設計を行う） 6. 製品における緩衝包装設計（発泡プラスチック系、段ボール、パルプモルト、フィルム等の緩衝材別の設計） 7. 緩衝包装設計の実例（実際の緩衝包装設計のCAD図面・写真・落下試験データ等の解説を行う）

詳しくは専用パンフレット及び当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第43回段ボール包装設計コース

～初心者を対象に段ボールの特性・包装設計を学ぶ～

【開催要領】

日時：平成30年2月15日（木）～16日（金）10:00～17:30
参加費：1名につき 会員43,200円 / 一般54,000円（消費税・テキスト代含む）
会場：(公社)日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
定員：50名（定員になり次第締切となります）
講師：レンゴー㈱ パッケージング部門 開発本部 包装技術部 東京包装技術第一課 課長 包装専士 大谷 昌義 氏
王子コンテナ㈱ 営業本部 CS推進部 包装技術 包装管理士 小林 昌弘 氏

【スケジュール（予定）】

時間	内容
2月15日（木） 座学	【段ボールの基礎】 包装産業の規模・段ボールの特性・製造と設備・強度特性 他 【包装設計に必要な知識】 段ボール箱の設計手順、寸法設計、圧縮強さ、材質選定、緩衝設計 他
2月16日（金） 実習	【ケーススタディ実習】 事例別グループに分かれ、段ボール箱を試作・発表資料を作成 【ケーススタディ発表】 グループごとに試作品を発表・講評及びディスカッション 他

詳しくは専用パンフレット及び当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) にてご確認ください

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>